

令和元年度第62回福島県中学校体育大会 ソフトテニス大会要項

- 1 主催 福島県中学校体育連盟 福島県教育委員会 会津若松市教育委員会
福島県中学校長会 公益財団法人福島県体育協会 福島県ソフトテニス連盟
- 2 後援 会津若松市
- 3 主管 会津地区中学校体育連盟
- 4 期日 令和元年7月22日(月)～24日(水)
22日(月) 監督会 14:30～ あいづ総合体育館(サブアリーナ)
開始式 15:30～ あいづドーム
23日(火) 競技(団体戦) 8:50～
24日(水) 競技(個人戦) 8:50～
閉会式 終了次第 会津総合運動公園テニスコート
- 5 会場 会津総合運動公園テニスコート(会津若松市門田町字御山字村上164)
荒天時:あいづドーム
- 6 参加資格 (1) 福島県中学校体育連盟に加盟の学校に在学し、校長が参加を認めた者とする。
(2) 各地区予選会を通過した一校単位で編成されたチーム、および個人(ペア)とする。
- 7 引率・監督 (1) 参加生徒の引率・監督は出場校の校長・教員・部活動指導員とする。部活動指導員が引率・監督を務める場合は、所定の「部活動指導員確認書(校長承諾書)」に必要事項を記入し、参加申込と同時に提出する。なお、部活動指導員は当該校以外の引率及び依頼監督にはなれない。
(2) 個人戦の監督は、2組以上出場する場合、出場する組数まで監督をおくことができる。
(3) 外部コーチについては校長が認めた者とし、所定の様式に従い「コーチ確認書」を参加申込と同時に提出する。ただし、当該校以外の中学校教職員・校長・部活動指導員の外部コーチとしてのベンチ入りは認めない。
(4) 外部コーチについては、監督の代わりにベンチ入りすることを認める。ただし、引率者は必ずそのベンチ近くに待機すること。また、外部コーチは引率者のもとで行動するものであり、教育的な指導の範囲を超えた選手への指導をしてはならない。
(5) 本大会に出場するチーム・選手の引率、監督、部活動指導員、外部コーチ等は、運動部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であることとする。また、外部コーチ等は校長から暴力等に対する指導措置を受けていないこととする。校長はこの点を確認して、大会申込書を作成する。
- 8 参加人員 (1) 団体戦:男女各24校(各地区男女各4校)
監督1名、登録選手6名以上8名以内(対戦の過半数を超える場合は可)とする。
(2) 個人戦:男女各48組(各地区男女各8組)
監督1名、選手2名とする。
- 9 競技規則 現行の(公財)日本ソフトテニス連盟「ソフトテニスハンドブック」による。
- 10 競技方法 (1) 7回ゲームを原則とする。
(2) 団体戦:6チーム(4ブロック)によるトーナメント方式を行い、その後、各ブロックの1位による決勝リーグ戦を行う。
(3) 個人戦:トーナメント方式で行う。東北大会代表決定戦を行う。
- 11 使用球 公認球(白色)を使用する。なお、使用球については団体戦ダンロップ、個人戦男子ケンコー、個人戦女子アカエムとする。
- 12 表彰 (1) 団体戦・個人戦とも、1位～3位に賞状とメダルを授与する。
(2) 男女とも団体優勝校には優勝旗、準優勝校には準優勝杯を授与する。優勝旗、準優勝杯とも持ち回りとする。
(3) 男女とも個人戦優勝ペアには優勝盾、準優勝ペアには準優勝杯を授与する。優勝盾、準優勝杯とも持ち回りとする。
- 13 参加料 1名 1,500円とする。

- 14 参加申込 (1) 各学校は、参加申込書一式、参加料、参加記念章代、プログラム代を地区中体連専門委員長へ一括申し込む。
(2) 各地区中体連専門委員長は、各校からの申込書類ならびに現金を確認の上、県競技部事務局へ提出する。
(3) 県競技事務局は、抽選会時に申込書類ならびに現金を集約する。
- 15 宿泊 (1) 大会に参加し宿泊を要する出場校は、適切な危機管理対応（感染症・自然災害等）を確保するため、必ず大会事務局指定の業者に宿泊申込書をFAX送信して、申し込むこと。（指定外の宿泊施設の利用は認めない。）また、宿泊申込書の原本は参加申込書と一緒に当該競技の地区専門部委員長へ提出すること。
(2) 大会役員の配宿は、大会事務局で行い、競技役員の配宿は、各競技事務局で行う。
(3) 宿泊料金は、令和元年度福島県スポーツ団体標準宿泊料金による。
- 16 その他 (1) 開始式・閉会式には、選手全員が参加することを原則とする。服装はユニフォームとする。
(2) プログラムは有料とし、1冊500円で販売する。
(3) 参加記念章は、1個350円で販売する。
(4) 選手変更について
① 団体戦で申込み後メンバーを変更し直す場合は、出場校の監督より各地区専門部委員長を通じて大会本部に届け出る。
② 個人戦で1名が病気等で出場不可能になった場合は、補欠登録選手のうち1名を出場校の監督より各地区専門部委員長を通じて大会本部に届け出る。
(5) ベンチサイドは、組合せ番号・記号の早い方を北側とする。
(6) 服装について
① 選手の服装は、上は襟つき半袖のスポーツシャツ（立襟は不可）、下は膝より上のテニスパンツ・スカートを着用すること。
（注）服装（用具を含めて）の色等は華美にならないようにする。アンダーウェアは白・黒のみ（上下同じ色）着用可。ただし、医療用具使用届を提出すること。競技中、シャツの裾を外へ出したり、袖をまくることをしない。
② 学校名や校章などが記入されているウェアの使用は認めない。（ゼッケンやテープなどで隠すこと）
③ 監督・外部コーチの服装は、選手と同様とする。
④ 選手・監督・外部コーチともテニスシューズを着用すること。
⑤ ソックスの長さはくるぶしより上で、ハイソックスは認めない。
⑥ 医療用具について
キネシオテープは、白色またはベージュ色、テーピングは白色とする。また、サポーターは白色または黒色とする。
(7) 背中にB5判横（白地）の大きさの布に、文字色は「黒」で《例1》のように県名、姓、学校名の入ったゼッケンを着用する。シャツそのものへのプリントは認めない。同一校に同姓の選手がいる場合には、《例2》のように名前の一文字を付け加える。
《例1》福島県 二本松市立安達中学校 二階堂 裕之

福島	1/4	県名(県は不要)
二階堂	2/4	姓
安達中	1/4	中学校名(学校名の後に「中」の文字をつける)

《例2》福島県 相馬市立中村第一中学校 猪股 尚文

福島	1/4	県名(県は不要)
猪股尚	2/4	姓(名の一部)
中村第一中	1/4	中学校名(学校名の後に「中」の文字をつける)

(8) 22日(月)は、会場コート（会津総合運動公園テニスコート：10時00分～14時00分）を各地区に練習用として割り当てるが、使用については各地区専門部委員長に一任する。
個人戦の練習コートは当日の進行状況を見て場内放送で連絡する。使用の仕方等は各地区専門部委員長に一任する。
(9) 東北大会への出場については、団体戦上位2校、個人戦上位6組が出場権を得る。
(10) 大会期間中の負傷・疾病については、応急処置のみ実施する。大会参加者は、健康保険証を持参することが望ましい。

17 連絡先 県専門部委員長 猪股 尚文（中村一中：0244-35-2237）
開催地区専門部委員長 浅野 浩士（若松六中：0242-22-5153）